

令和8年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和7年度の振り返りと令和9年度の取組検討）

施策No	121									
施策名	中心市街地及び地域市街地の活性化							施策の目的	● 商業を中心とした魅力ある中心市街地（佐野駅周辺地区）を創出します。 ● 生活機能の確保された地域市街地（田沼駅及び葛生駅周辺地区）を創出します。	
施策主管部長			産業文化スポーツ部長		施策幹事課長		産業政策課長		関係課	文化推進課、観光推進課、都市計画課、都市整備課、道路河川課、財産マネジメント課

1. 進行管理
(1) 指標の実績・考察

①中期基本計画の指標 目標年度(令和7年度)の目標値達成状況

	指標	単位	実績基準値	実績値					最終年度（R7）の 目標値達成状況	左欄の「目標値達成状況」の総括
			R2	R4	R5	R6	R7	R7		
a	中心市街地のメイン通り沿いの店舗数	軒	319	296	277	256	252	335	③目標値を下回った	空き店舗活用補助を活用した新規店舗が年間9件ほどが出店しているが、事業者の高齢化等による廃業が多かった。
b	地域市街地のメイン通り沿いの店舗数（田沼）	軒	86	78	77	72	67	86	③目標値を下回った	空き店舗活用補助を活用した新規店舗はなく、事業者の高齢化等による廃業数が多かった。
c	地域市街地のメイン通り沿いの店舗数（葛生）	軒	50	49	49	48	47	50	③目標値を下回った	空き店舗活用補助を活用した新規店舗はなく、事業者の高齢化等による廃業数が多かった。
d										

②後期基本計画 施策の対象・目的及び指標の設定 ※令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート「3. 後期基本計画策定のための施策の必要事項管理シート」から転記

	対象	対象指標		単位	R4	R5	R6	R7	R8(見込)	R9(見込)	R10(見込)	R11(見込)	
①	中心市街地（佐野駅周辺地区）	中心市街地（佐野駅周辺地区）活性化計画区域面積		ha	96	96	96	96	96	96	96	96	
②	地域市街地（田沼駅及び葛生駅周辺地区）	地域市街地（田沼駅及び葛生駅周辺地区）区域面積		ha	192	192	192	192	192	192	192	192	
③													
④													
目的		成果指標		単位	区分	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
①商業を中心とした魅力ある中心市街地を創出します。 ②地域特性に応じた生活機能の充実、活性化を図ります。	①	中心市街地歩行者通行量（平日・5か所）	人	目標値	4,400	4,500	4,600	4,700	5,000	5,100	5,200	5,300	
				実績値	5,125	5,675	4,858	5,629					
	②	地域市街地歩行者通行量（平日・2か所）	人	目標値	800	850	900	950	1,000	1,050	1,100	1,150	
				実績値	890	1,067	877	828					
	③			目標値									
				実績値									
	④			目標値									
				実績値									

(2) 基本方針の取組状況

①特に実績をあげている取組（計画初年度(令和4年度)以降の取組状況） ②計画通り進捗していない取組 ※理由及び今後の対応も含めて記載

・中心市街地の空き店舗の活用を促進します。（さのまちづくり株式会社や不動産事業者と連携し、利用希望者へ空き店舗の活用した出店補助制度の情報提供することで、中心市街地への出店につなげることができた。（出店件数 R4:4件、R5:11件、R6:8件、R7:9件））	・株式会社足利銀行佐野支店跡地の活用について、まちなか活性化の拠点としての整備方針を固められていない。（民間からの整備に対する意見を踏まえ整備方針を固める。）
--	---

(3) 令和7年度行政経営方針の取組状況

①令和7年度行政経営方針 ②令和7年度行政経営方針の取組状況

・既存のイベントと連携し、まちなか活性化ビル、ばるぼーと、まちなか賑わい空間、まちなかサロンといった拠点施設の有効活用を図るとともに、まちなかに出店した店舗と既存の店舗、地域住民等が意見交換できる仕組みを構築する。 ・中心市街地、地域市街地の空き店舗調査により、作成したマップをもとに空き店舗バンク構築に向けたデータの取りまとめを行う。また、各団体等と連携し所有者の意向確認、利用希望者とのマッチングを進めるとともに、出店した店舗と連携し民間主体の回遊イベントが開催できるよう働きかける。また、さのまちづくり株式会社の経営基盤の整備及び強化策を検討する。 ・さのまちづくり株式会社や不動産事業者との連携により、空き店舗情報の共有と空き店舗の活用補助の周知を図る。また、宇都宮大学の地域プロジェクト演習を通し、学生や地域住民と連携し地域市街地の状況調査を実施する。 ・市道佐野57号線の整備にあたっては、令和10年完了に向け駅南公園西土地区画整理事業の建物等の移転・補償、工事を計画的に進める。また、「戦略的まちなか活性化エリア」の活性化に向けた意見の取りまとめを図る。 ・株式会社足利銀行佐野支店跡地を中心とし、民間主導によりまちなかエリアの価値を高めるための具体策について取りまとめを行う。	・既存のイベントと連携し、ばるぼーとやまちなか活性化ビル、まちなかサロンの拠点施設の有効活用が図られた。また、まちなかに出店した店舗と既存店舗、地域住民等が意見交換できる仕組みとして、さのまちづくり株式会社において（仮称）佐野市まちなか活性化推進協議会の設立に向け準備をしていたが、さのまちづくり株式会社の人員体制に変更があったため、令和7年度中の協議会設立には至らなかった。 ・中心市街地、地域市街地の空き店舗調査を実施し、活用可能な空き店舗等の把握に努めた。所有者の意向確認や利用希望マッチングに向けた取組までには至らなかったが、引き続き関係団体等と調整を図った。また、民間主体の回遊イベントが開催できるよう、令和8年度にさのまちづくり株式会社を事務局とした（仮称）まちなか回遊プロジェクト実行委員会の立ち上げ準備を始めた。 ・さのまちづくり株式会社や不動産事業者と連携し、利用希望者へ空き店舗を活用した出店補助制度の情報提供することで、中心市街地への出店につなげることができた。また、宇都宮大学の地域プロジェクト演習を通じて、学生や地域住民と連携して葛生駅周辺の現地調査及びワークショップを実施した。 ・駅南公園西土地区画整理事業は、早期完了を目指し移転交渉を行っている（移転補償：1件、使用収益不能補償：4名、工事状況：駅南公園擁壁工事 外1件）。 ・株式会社足利銀行佐野支店跡地の活用について、整備方針の決定までには至らないが、さのまちづくり株式会社からの報告書や民間団体からの要望等を受けるとともに、まちなか活性化に関する市民向けワークショップを開催して足銀跡地を含めた様々な意見をとりまとめ、今後の活用方針の参考とする。
--	---

(4) 環境変化や関係者の意見、要望等

県道桐生岩舟線（本町工区）の道路整備について、令和8年度より用地測量に着手見込み。 さのまちづくり株式会社の人員体制の変更（令和8年4月より新体制）

2. 課題と次年度（令和9年度）の取組

(1) 課題

- ①まちづくりの先導的役割を担うさのまちづくり株式会社と連携した中心市街地での集客とコンバクトなまちづくりに向けた取組の実現に係る組織の立ち上げ
- ②中心市街地及び地域市街地における空き店舗の利活用
- ③駅南公園西土地区画整理事業の計画的な実施、及び佐野駅南地区のスポンジ化への対応
- ④株式会社足利銀行佐野支店跡地の活用方針の検討
- ⑤中心市街地活性化拠点施設を活用した賑わい創出事業の促進
- ⑥地域市街地の活性化の推進

(2) 課題に対する今年度(令和8年度)内の取組状況、予定

- ①さのまちづくり株式会社と連携し、（仮称）佐野市まちなか活性化推進協議会の設立に向けて準備をする。
- ②空き店舗の賃貸と購入の格差を是正するため改装費補助に一本化したまちなか空き店舗を活用した出店奨励金の周知と空き店舗情報の共有を図ることで、中心市街地及び地域市街地への出店を促進する。
- ③駅南公園西土地区画整理事業の早期完了に向けて、相続問題が解決できない令和8年度移転予定物件については、これまでの移転協議等を踏まえ、事業の進捗確保のため、直接施行を実施する。
- ④株式会社足利銀行佐野支店跡地を中心として、まちなかエリアの価値を民間主導により高めるために、主要地方道桐生岩舟線の拡幅工事による人流やまちなみ変化を勘案した土地利用の検討を進める。
- ⑤中心市街地の既存イベントとの連携や、佐野駅前交流プラザ等の拠点施設の活用により、地域の店舗や住民が協働する環境づくりを進める。
- ⑥地域市街地において、大学等と連携した活性化に取り組む。

(3) 次年度(令和9年度)の取組(案)

- ①中心市街地活性化を図るため、さのまちづくり株式会社と連携した組織づくりを進める。
- ②中心市街地及び地域市街地への出店を促進するため、まちなか空き店舗を活用した出店奨励金の周知と空き店舗情報の共有を図る。
- ③駅南公園西土地区画整理事業の早期完了を図るため、相続問題の整理が課題となっている令和9年度移転予定物件については、引き続き弁護士等を含めた調整を行い、移転協議に取り組む。
- ④株式会社足利銀行佐野支店跡地を中心として、まちなかエリアの価値を民間主導により高めるため、主要地方道桐生岩舟線の拡幅工事による人流やまちなみの変化を勘案し、土地利用の具体策の取りまとめに取り組む。
- ⑤中心市街地にある店舗や住民が協働する環境づくりを進めるため、中心市街地の既存イベントとの連携や、佐野駅前交流プラザ等の拠点施設の活用に取り組む。
- ⑥地域市街地において、大学等と連携した活性化に取り組む。

※重点取組は太字・下線で記載